

鴨川市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時 平成23年12月20日(火) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時50分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 佐久間秀子 (2) 佐々木久之 (3) 根本新太郎
(4) 村上 修平 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 小倉 茂
(4) 黒野 雅典 (5) 原 一郎 (6) 石川 丈夫

5 委員報告

- ・村上委員から、丸小学校公開研究会に参加した感想として、算数学習における発表や学習のまとめなどの場面で、子どもたちが積極的に考え発表するすばらしい姿をじっくり参観することができ、たいへん勉強になったこと、鴨川小学校の南房総教育事務所計画訪問でも子どもたちがよく学習に取り組んでいたことについて、報告がなされた。
- ・根本委員から、学校図書室の所蔵図書が少ないことや古い本が多いことが影響し、特に高学年の子どもたちの利用が少ない様子が見られることから、今後は新しい図書を多く購入し、手に取り読んでみたいと思えるようにすることが必要であるとの報告がなされた。また、教友会での研修として実施された「伊八再発見展」の見学では、石川学芸員から説明を受け、名工の歩んだ道や彫刻の特徴がよくわかったこと、先ほど行われた「大阪府教育条例」や「八重山地区教科書採択問題」に関する教育委員研修では、教育委員会のあり方を改めて考えさせられたことについて、報告がなされた。
- ・佐々木委員から、鴨川小学校の計画訪問に関して、児童数が多く活気ある授業展開であったが、精神的に不安定な児童については家庭と連携して対応していく必要があると考えたこと、丸小学校の公開研究会では児童が主体的に工夫しながら発表し、活気のある授業が展開されていたこと、講演会では低・中・高学年ごとに図書を選定して読書活動を進める事例やデジタル教科書活用に関する内容が参考になったことについて、報告がなされた。
- ・佐久間委員から、丸小学校の公開研究会では児童一人一人がよく考え活動する授業が展開されていたほか、教師と子どもの関係が素晴らしく、よい学級づくり・授業づくりがなされていると思ったこと、丸幼稚園でも民話の提示の仕方が効果的で、しかも

園児が小学生顔負けの発表をしていることに感心させられたことについて、報告がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、南房総教育事務所管内教育長会議では23年度末の人事異動の方針が示されたほか、所長訪問の反省について話があったこと、第2回市議会臨時会では県に倣って市職員の給料を引き下げる案が上程され可決されたこと、山口杯中学校陸上競技大会は安房郡市の中学生が参加し、陸上競技の新人戦の意味合いで行われたこと、田原地区幼保一元化説明会では来年度から田原幼稚園において行う預かり保育について保護者に説明したこと、ソレイユ少年ソフトボール大会が2日間に渡り、市内4箇所で開催されたが、体育センターはバックネット等のグラウンド環境が貧弱で整備が必要であると改めて考えたこと、12月1日に開会した第4回市議会定例会の一般質問では教育委員会関連の質問はなく、一般質問及び議案質疑を通して、現敷地に建設することとした新市民会館に関する内容が多かったこと、神奈川県と千葉県の教育委員が長狭学園を視察したが、教育委員の方々は、県として小中一貫教育をどう推進するか、少子化に伴う少人数での教育をどう改善するのか等の課題をお持ちになって来られたこと、市小中学校長会議では全国学力学習状況調査結果をもとに学力向上について協議をしたことについて、報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・佐々木委員から、デジタル教科書活用に関する質問があり、福田教育次長より本年度は小学校理科のデジタル教科書を1セット購入し、ICT利活用推進委員会で効果的活用について研究を進めてきたが、来年度は全小中学校で理科デジタル教科書を活用できるように、現在予算要求をしているところであるとの報告がなされた。
- ・村上委員から、ICT利活用による教育の現状と今後の方向性に関する新聞記事の紹介があり、本市としても電子黒板等を効果的に利用するため、職員の研修を充実させる必要があるとの意見が出された。
- ・その他に質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市預かり保育実施要綱の一部を改正する告示について」

- ・滝口学校教育課長から、預かり保育を利用しやすくするため、預かり保育料の料金設定の内、午後2時から6時までの時間帯を2分割し、これまでの料金の半額

をそれぞれの額とする内容の「鴨川市預かり保育実施要綱」の一部改正について資料を基に説明がなされた。

- ・佐々木委員から、預かり保育料金の体系を細分化することは好ましいことであるが、パートで働く保護者は、毎日勤務するとは限らないことから、利用日数で料金を徴収する方法を希望する声があるとの報告がなされた。これに対し、長谷川教育長より、料金体系の細分化をどこまで行うかは大きな課題であることから、今回は原案のとおり実施し、今後さらに検討を進めていきたいとの説明がなされた。
- ・佐久間委員から、徴収方法に関する質問があり、滝口学校教育課長より原則として口座振込による徴収となっており、各幼稚園からの報告を基にその事務手続きを学校教育課が行っているとの説明がなされた。
- ・議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「鴨川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」

- ・原スポーツ振興課長から、鴨川市スポーツ推進審議会設置条例に基づき平成24年2月1日より26年1月31日までを任期とするスポーツ振興審議会委員を委嘱することについて、資料を基に説明がなされた。
- ・議案第2号については、質疑なく全会一致で可決された。

(3) 議案第3号 「埋蔵文化財の発見の報告について」

- ・黒野生涯学習課長及び石川主査から、鴨川市が実施した嶺岡牧再生基礎調査で大規模な嶺岡牧野馬土手群が発見されたことにより、千葉県埋蔵文化財取扱い要綱に基づき、千葉県教育委員会に報告することについて、資料を基に説明がなされた。
- ・佐々木委員、佐久間委員から、地主の許可を得て報告するのか、高圧鉄塔が土手を跨いでいる場合、地主との関係はどうなるのかとの質問があり、黒野生涯学習課長、石川主査より、今回の報告は文化財指定ではないことから土地所有者の許可を前提としていないこと、文化財を大切にす観点から報告することとしたとの説明がなされた。
- ・根本委員から、この一帯は払い下げにより私有地となっているが、県が文化財指定

を行うことを視野に入れての報告なのか、開発行為をする場合の扱いはどうなるのか、嶺岡牧に関わりのある南房総市は県に同様の報告をするのかとの質問があり、石川主査より、この報告は野馬土手群を保全することの第一歩と考えており、文化財指定まで考えてはいないこと、文化財指定となれば土地所有が複雑であることから、限定されたエリアとなるであろうこと、開発行為に対しての調査は開発者が負担することが基本であるが、負担しきれない場合は県・市の補助制度があること、この報告は市町村単位が基本であり南房総市は調査を実施していないのですぐに県に対して報告することはできないことについて説明がなされた。また、黒野生涯学習課長より本市が県に報告することを南房総市に伝えるとの説明がなされた。

- ・長谷川教育長から、野馬土手が風化した場合の修復に関する質問があり、石川主査より、基本的には土地所有者が行うことになるが、文化財指定ではないので所有者への指導は難しい問題であるとの説明がなされた。
- ・長谷川教育長から、野馬土手群を観光資源として活用する研究が必要であるとの意見が出され、石川主査より地元参加のワークショップを設け、観光活用を考えたり、地元小学生の見学により理解を深める活動をしたりしているが、マムシやイノシシ等が棲む地域なのでむやみに山に入るのは危険であり、観光活用については様々な観点から検討を進める必要があるとの説明がなされた。
- ・根本委員から、所有者が石垣をこわす等の行為をとめることはできないのかとの質問があり、石川主査より土地所有者に現状維持をお願いすることはできるとの説明がなされた。
- ・議案第3号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

8 その他

- (1) 福田教育次長から、平成23年度全国学力・学習状況調査結果の分析と考察について、市と安房地区、平成20年度と本年度等の比較から、平成20年度より数学A問題を除き上昇傾向にあるものの、特に「活用する力」を高める必要があるとの説明が資料を基になされた。また、今後各校でそれぞれの結果を分析し、課題を整理した後、各中学校区でさらに検討をするとともに、教育委員会としても指導主事と教務主任との面談を実施し、課題解決に向けた具体的な取組を支援していくとの説明がなされた。
- ・長谷川教育長から、19年度に調査を開始以来本市の学力は徐々に上昇してきているが、平均正答率だけにこだわらず、基礎・基本を含めて学力全体の向上を図っていかなくてはならないとの考えが出された。
- ・村上委員から、算数Bや数学Bなどの応用問題の理解が低いことの分析をしっかりと

行うべきであるとの考えが出された。

- ・根本委員から、成績の優れた児童生徒だけでなく、どの子どもも成績を伸ばすような取組が必要であるとの考えが出された。

(2) 村上委員から、学校給食の放射性物質検査に関する質問があり、小倉学校給食センター所長より、保護者の方から自主的に検査したいとの要望があり、学校給食センターとしてミンチ状にした検査用給食を保護者に提供することにしたとの説明がなされた。

(3) 各課長から、資料をもとに1月の行事予定についての説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、1月の定例教育委員会会議について説明がなされ、1月25日(水)に開催することになった。

佐久間委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年1月25日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白